京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐ可らず

明治四十三年　紀元二千五百七十年

本紙定價　▲一枚金二錢▲一ヶ月前金四十五錢▲三ヶ月前金壹圓▲六ヶ月前金貳圓▲郵稅一ヶ月十三錢

月曜日及び大祭日の翌日は休刊（日刊）

廣告料金　▲五號活字十七字詰一行一回金五十錢▲雜報欄特別廣告五號活字十七字詰一行金七十五錢

發行兼編輯人　高木久馬太

印刷人　松久禅一郎

京城西署西小門通（電話六六二）

發行所　京城新報社

漢城より　北韓山生

▲時候暑に向ひ、去三十日の如きは氣溫九十度に昇らんとせり、氣早の疫病神はソロ〜頭を擡ぐる頃となれり、此の邊何とかせでは叶はぬ事と相成候▲ソノ何とかせざるべからざる中にも客年惡疫流行せし砌、漢城衞生會にて設置計畫成りしやに傳へられたる避病舍は、其後如何に成り行きしやらん聞く處無し、但未だ設立されざるは事實にて候。▲此の事實は直ちに爲政者の殺意を表明す、抑政治は人民に對して布かるべきもの也、去れば人民が生存の保障を請ずるは爲政の第一要義たるは云ふ迄も無き事也、日韓政治關係の進轉、統監の更迭、吏員の陶汰等の爲めに拘かさるべきものに非らざる也、設し斯る事態に神を奪はれて、人民が生存の保障事項中最重要なる衞生事業の等閑に附せらるゝが如きことあらば、寧罪惡として爲政者を責むるに値すべく候。▲吾等が茲に漢城衞生會の事業を以て爲政者の責を云々するは少しく倫を失するの嫌なからず、然れども漢城衞生會なるものゝ成立以來の施設經營が殆んど純然たる官業にして、而かも其事業が政治科目中の重要なる部分を構成せるは前述の如し、特に韓國に於て爾るを覺ゆ、故に敢て叙上の言を爲すものに御座候。▲一日、警察官の罷免發表せられ候、之れを第一回の陶汰と見るべし、第二回、第三回尋いで行はるゝならんか、斯くて警察權は明石將軍の手に統一せらるゝこと豫報の如くなるべく候。▲此處迄で書きし時不圖想起せるは日露戰役後の小村大使が事どもにて候、武人が血を以て培ひし戰爭の果實を十分に收穫し得ざりしとて散々の非難攻擊は實に哀れにて候ひしが星移り物變りて外相小村伯が滿韓移民集中策は稍世人を首肯せしむるに至りたるの今、憲兵本位の警察機關を此國に据ゑらるゝことゝは相成りて、此度は小村伯の移民策が變な工合に成りはせずやと危ふまる、理屈は無けれど、因果應報、劍の功を沒したりとせられたる小村伯の政策が劍の爲めに沒せらるゝは天の數なるやに感ぜられ候、唯何となく然る感有之候、實以て不圖想起したることながら、自今以後憲兵の對人民態度は邦人の發展に大影響を及ぼすもの此點に關しては明石將軍の特に深き注意を要請致し置候也。（一日稿）

拓殖局と列國

世界の植民國を見るに英國の植民省は云を俟たず各々其組織、官制、權限等を異にすと雖も各國皆植民事務を統轄すべき獨立したる主腦機關を有せざるものなし然るに我國に於ては戰後遽かに廣大なる植民地を統轄する事となりたるにも拘はらず其の管轄區々にして之を統一すべき主腦機關を有せざれば各地に共通する一般的狀勢を知るに苦み當局に於ても非常の不便を感じたるのみならず本邦の官制に通曉せざる外國人は此の點に關して大なる疑問を挿み或る通信員の如きは日本の植民地は全部陸軍省の統轄に屬し日本の植民地行政は事實上軍政なりとの誤報を傳ふるものすらありし程なりされば今回拓殖局の新設に依りて是等の誤解を氷解し我國植民政策の主腦、輪廓を明瞭ならしめたるのみならず將來に對する大體の方針をも最早や知悉する事を得たれば彼等は爾今再び上記の如き疑問を懷くことなかるべし猶は在東京の列國外交官は拓殖局の新設に關して何れも深甚なる注意を拂ひ其の內容を調査して各々本國政府に報告する所ありたるが如し而して其の多くは日本の新施設を正解したるが如きも總裁首相兼攝に就ては本邦の事情を諒察せざるものあらんも知るべからずと當局某氏語る

安奉線工事近況

安奉線工事狀況に就き島瀬技師の談話槪要左の如し

▲開通は來年八月

▲隧道工事　安奉線工事は豫定の通り着々進捗し全線二十箇所の隧道も福金嶺、鷄冠山等四箇所を除くの外は悉く貫通するに至れり而して全線中最長の福金嶺隧道（四千八百八十四呎）貫通工事は手掘によりて既に其の三分の一を掘り居るが此程米國より最新式の穿鑿機を取寄せ目下据付中なれば今後は工事も一段の進歩を見るに至るべし

▲安東縣鷄冠山間　五十哩の土工々事は略ぼ竣了に近く七月末迄には完了の見込にて此間に敷設すべき軌條は安東縣に準備しあれば土工完了を待つて直に敷設工事に着手する豫定なるが右兩地間開通の上は材料運搬上尠からざる便利を得べく從て全線工事の進行を捗くる事大なるべし右の如き狀態なれば豫定期間たる來年八月迄には優に全線の開通を見るに至るべし

●水稻早神力の成績

水原勸業模範場に於て數年來試作の結果品質收量共に優良なるを認め之れが普及を圖りつゝある水稻早神力種は北韓地方に於ては氣候の關係上登熟不十分の憾みあるも南韓地方は氣候溫暖なるを以て其成熟十分にして且收量多く成績頗る良好なり然して同場に於て昨年京畿以南の各地に種子を配付し栽培せしめたる早神力の成績を綜合するに一反歩の收穫平均早神力は三石九斗七升在來種は三石一斗五升となり早神力の籾摺歩合を五割三歩とし在來種を五割（有芒種、無芒種平均）とする時は一反歩の玄米收量は左の如し

早神力種	二石一斗四合
在來種	一石五斗七升五合
差	五斗二升九合

即ち早神力は在來種に比し一反歩の收量籾にて八斗二升（玄米にて五斗二升九合）の增收となり籾一石四圓として算當する時は三圓二十八錢の利益なり

銘酒　一鶴

●海州方面賊徒近狀

近來各地の賊徒は殆んど跡を絶ち唯僅かに四五名乃至十名位より成る鼠賊が所々に出沒して民財を掠めることあるに過ぎず然るに有名なる平山暴徒は未だ全く平定せざるものゝ如く首魁李鎭龍は其後蹤跡を晦ましたるも彼の宿將韓貞儒は今尚は部下を率ひて海州地方に出沒することあり去月二十八日には韓貞儒の率ふる四十四名の一團は各自茶褐色の服に洋銃を携へて海州郡高山面を通過して西北方に向ひたる形跡あり是より先き二十六日には平山暴徒と自稱する十二名の賊徒各自洋銃を携へて海州郡檢丹面の韓召史なる妓生の家にて晝食し青山面方面へ逃去りたる由惟ふに同一系統なるべく而して去る三十日には溫井院分遣所の搜索隊は平山郡馬山面に於て賊徒の隱匿したる管折銃一挺及び火繩銃一挺を押收したり

俳句

◎夏（植物）五句　多田千春

料理場に早香の赤る花柚かな
驛長の假りの住居やいばら垣
葉柳や客待つ籠の二三挺
照り詰めて雨待つ色や紫蘇畑
さみだれて逗留長しあやめ宿

講談　大岡政談　越後傳吉　旭堂南陵講

第十三回

傳「滅相もないこと、今湯に參りましたら眼が眩つて死んでしまひます、朝から御飯を食べないので　源「オヤ〜さうでございますか、こいつア濟ぬことを申しました……オイ御飯の支度をしろ、小旦那は飯を上らないから」下命ましたから直ぐに御飯の支度をして來ました　源「サア小旦那、どうぞ此方へ　傳「ハイ私アもうこれで蘇生つたやうな心地がいたします、まづ〜御機嫌宜しうございまして　源「イヤ小旦那もれ變りなうて結構でございます……オーれ松此所へ來い、汝に乃公が話しはして置たがもう一度諄いやうだけれど、小旦那に對し不都合なことがあつちやアならないからいふとくがね、乃公が越後の國に居る時に詰らねへ村賭博を打つて散々道樂をした揚句到頭れ役人に上げられちまつた、そのときにこの小旦那の祖父樣の傳左衞門樣が、二字帶刀御免の大庄屋さんだつたから、郡奉行の方へ話しをなすつて下さつて、乃公が御牢內へ入つてる奴をば助けて頂き、その上源兵衞汝ア賭博をやつちやア駄目だぞ、何日までも賭博を踏て居りやア生涯頭は上らぬから賭博は止してしまへと、御意見をして下されて、越後の國を立つ時には旦那樣が先達になり、甚右衞門さんや三右衞門さんや重立つた人から餞別だといつて集めて貰つた金が二兩ばかり、そいつを貰つて江戸へ來て旦那の御意見が身に染みたもんだから、あゝやつて三浦屋さんへ奉公して汝と夫婦となつて、斯うやつて一軒の家でも持やうになつたのだ、このた方はその傳左衞門樣の孫さんだから、粗末に扱はねへやうにしてくれなくちやア不可せ……小旦那マア〜今日は御緩りた休みなせいね、明日は江戸見物に御案內いたしませう　傳「私ア江戸へ見物に來たのでねへでがす、知つての通り祖父樣の家が潰れてしまひまして今では水呑百姓、あの時に私の伯母さんになりますればやさんが今親になりましてれ梅といふ女房は矢ッ張り伯母さんの子で私と從兄妹夫婦　源「へイ〜その話しもちらつと聞いて居りました　傳「伯母やれ梅をば樂にさせたい、田地田畑を買戻したいと思ふについて江戸で、金儲けがしたさに來たんでございます、どんな働らきの酷いところでも厭ひませんから、れ金を蓄めて歸られるやうなところへ奉公に遣つて貰ひてゑでがすが、何うでがせう　源「成はどうでございますか、イヤ江戸へ來る奴は皆初めは江戸へ來て稼いで金を蓄て歸らうといふのですが、そいつがなか〜さうは行かねへので越後の田舍から江戸へ來て繁昌なところを見たり美味い物を食たり、殊にこのツイ向ふに吉原の廓がありますからそこへ足を入れて給金の先借をして皆費消て了ひ、國へ歸る時には路銀がなくなつて私等が幾らかの路銀を作へてやるくらゐです、小旦那なんぞはそんな氣遣ひはございませんけれども、マア現に角今日のところは緩りれ休みなさい、よう噂とも相談をして良いところへれ周旋しやせう　傳「どうか一日も早くやつて下せゑな、明日にでもやつて頂きたいもんで……　源「宜うがすちやア今夜相談して置きませう」その晩は傳吉を寢して夫婦の者は相談をいたしましたから明くる朝　源「なア小旦那れ前さんが昨日の話しぢやアどんな働らきでも構はねへ、貯蓄がしたいと斯ういふ話だ、さうすると何ぼ身分が低くなつても構はぬ錢を儲けたら宜いとマア斯ういふれ積りで……　傳「ハイ、どんなことでも構ひません、金さへ儲けりやア宜いでがす　源「成程……實は私アマア斯うやつて一軒の家を持つやうになつたのはこの吉原の廓遊女三千人御免の遊女場、江戸町に三浦屋四郎左衞門といふ江戸一の女郎屋さんがございます　傳「ハイ　源「其家へマア奉公に入り込んだんです、何しろ錢のある人が氣の入らねへ、錢を持て來てパッ〜と撒散らして遊ぶところで、何うしたつて錢の撒きやうが大きうございます、其家で辛抱しまして幾らかの小錢を蓄めました時に三浦屋の店で奉公して居たれ女と妙な譯になりました、れ武士だつて町人だつて變りやアしません、不義はれ家の殿い御法度とあつて二人ながられ拂箱にならうとするところを三浦屋の旦那が譯の分つた良い人で、さう惚合つた間柄なら夫婦にしてやらうと、三浦屋の旦那樣から幾らか錢を貰ひ斯してマア家を持つやうになりましたが、金を貯へやうと思やア吉原に限るのです、只だ奇麗な女を見るものですから、ツイ陷り込で給金なんかを臺なしにして了ふが多いので、夫さへ我慢すりやア乾度金が貯ります」

京城新報

山縣副統監着任

第二世副統監山縣伊三郎氏が着任に及んだ、余輩は氏が旅行中の無事を祝し併せて今後の健康を祈る。顧れば統監府は適當なる主人を有せずして過ぐる一ヶ年を過ごした、此間に於て種々の出來事は在つたが要するに何れも水上泡沫の如きものであつて我保護權を害する樣な大事件は起らなかつた。思ふに之れ帝國の國威が統監府の主人を要せずして半島の統治は出來る程に偉大になつた爲だ。[illegible]此時に於て寺內陸相が統監を兼任することになつた、而して山縣氏が新たに副統監に任命された、余輩は此二人者の任命に見て帝國政府が[illegible]半島の開發に對する帝國の責任が日一日と大を加ふる狀態ある今日[illegible]

東京電報

朝香宮御對顏

朝香宮殿下には三日參內兩陛下に御對顏あらせられたり(四日)

國民黨と講話

國民黨は來る十八日午後一時より校外山博士を本部に招き[illegible]に關する學術上の講話を聽く事に決定せり(同上)

井上氏出發期

來る九月南米智利國獨立百年紀念祝典祭に參列すべき井上特命全權大使、渡邊砲兵大佐、田邊書記官は香港丸にて來る[illegible]日橫濱解纜八月六日墨[illegible]智利國バルパレンソ到着の豫定なり(同上)

內田大使出發

墨西哥獨立百年紀念祝典に參列すべき內田特命全權大使[illegible]を仰せ付られたる平賀[illegible]中騎兵中佐は十一日の[illegible]に決定せり(同上)

萬國鐵道會議

[illegible]は七月[illegible]林に開會す(同上)

水府侯の危篤

舊水戶侯正二位勳二等德川昭武[illegible]き聞し召され左の通り御沙汰ありたり(同上)
進級 [illegible] 勳二等 德川昭武

商船無線電信

大阪商船株式會社にては東洋汽船會社天洋丸に倣ひ臺灣北米兩航路[illegible]一隻宛に無線電信局を[illegible]決定したり(同上)

水府侯の薨去

既報危篤なりし舊水戶藩主德川昭武[illegible](同上)

曾禰子爵重態

前統監曾禰子爵は[illegible]癌腫の疼痛殊に烈しく[illegible]ふし頗る重態に陷れり(同上)

商務官の人選

近々商務官[illegible]時に商務官の任命ある[illegible]選に就て外務農商務省[illegible]

新議院設計圖案

新議院建築[illegible]其第一回銓査會を開く[illegible]べし設計圖は巨額の懸賞を以て內外建築家より募集の筈なり(同上)

▲神戶の補缺選擧 同市故櫻井一久氏補缺選擧は來る十一日執行に就き國民黨は同市辯護士野々瀨宗三氏を實業家側は松方幸次郎氏を推選するに決せり(同上)

北京電報

津滿鐵道借款

津滿鐵道は更に德淮鐵行に向け四百五十萬兩の借入を爲し事業擴張計畫をなしつゝありと(四日)

▲獨淸境界の落着 膠州灣に於ける獨淸境界問題は獨逸の主張通り解決し操田の一部は獨逸の有に歸したり(同上)

新任獨逸外相

新任獨外相キデルレン、ワイヒテル氏は八月末迄ルーメニヤ公使に就任し而して八月一日より大臣の職に就くべし(四日)

伯林電報

▲ト伯重患に罹る トルストイ伯は重患に陷りたりとの報あり

▲早稻田選手試合 早稻田野球選手の一行は無事着元氣旺盛にて三日は終日猛烈なる練習を試み四日米獨立祭當日第一回試合をなす筈なり

地方電報

▲龍川面地方不穩 昨三日黃海道金津郡龍川面地方國有地調査中面人民約六百名集合し不穩の狀況を呈したるを以て附近の憲兵警察官出張說諭したる結果漸く解散せしも該調査は一時中止せり(四日海州)

山縣副統監入京

山縣副統監は石井武官木內宇佐美の兩參與官大城戶統監秘書官佐竹土地調査局書記官等を隨へ光濟號に搭乘して豫定より早く四日午前九時三十分仁川へ入港せり港頭近く錨を投ずるや豫ねて待ち設け居れる仁川居留民は歡迎の煙花數發を放揚して一行の無事安着を祝し稅關波止場附近には禮裝せる人々黑山の如く立並び稀有の盛況を呈したり

▲京城より出迎者は 石塚參與官、明石警務總監部長、小宮、俵、國分、倉富の各參與官、榊原軍參謀長、岡、若林兩知事、橫井前參與官、菊地商工局長を始めとし統監府各部の高等官數十名及京城居留民團より古城民長其他各會社銀行の重役諸氏にて副統監は稅關のランチに迎へられて上陸し多數の歡迎者に一々挨拶を交はせ仁川理事廳に入れり

▲韓國側出迎者 は勅使李會九及內閣代表者高永喜を始め漢城府尹張憲植漢城府民會長兪吉濬等朝野の名士二十餘名を算し副統監は是等韓人側に對しては特に慇懃なる挨拶を爲し

▲理事廳にて晝餐 を了へ石塚參與官其他數名の人々と歡談し午後二時二十五分車を驅りて停車場に出で特別列車に投じて京城へ向け出發せり此時も港頭上陸の時と同じく仁川居留民は煙花を打揚げ又停車場には數百名の官民整列して之を送り午後三時四十九分

▲南大門驛着 入京せり停車場には大久保軍司令官を始め統監府各勅奏任官韓國各大臣以下各部高等官其他居留民中の主立つもの新聞記者等無慮二千餘名の多きに達せり暫時貴賓室にて休憩し夫れより馬車を驅りて副統監邸に入れり

▲沿道の警戒 は特に嚴重に固められ仁川より南大門に到る線路には憲兵巡査一二丁に警戒し苟くも不逞の徒の徘徊を許さず又南大門驛より官邸までの順路は三歩に一人の憲兵巡査を兩側に配置して堵の如き歡迎の群集を注意し萬一の警戒に力め伊藤公發着當時以上の周到を極めたり

歐洲との鐵道聯絡

政府は今回本邦と歐洲大陸の鐵道との聯絡を圖るの目的を以て七月白耳義ブラツセル府に開かるゝ大陸鐵道聯絡會議に加盟することに決し在歐鐵道院參事大道良太氏同技師生野團六氏を委員としてこれに參列せしむることゝなれり是は既に同聯絡に加盟せる露國との聯絡成らんとするの今日更に進んで歐洲諸國との聯絡を開始し互に直通切符を發賣するの便宜を開くの必要ある折柄右聯絡會議により我政府に對し贊同を勸誘し來りたることゝて茲に假に加盟を見るに至りたるものにてその結果日露兩國間の貨物聯絡に關する件は右會議の終了後來八月を以て更に露都にいて交涉を遂け正式に調印を經てこれを實施する順序となるべしといふ

韓民の新警察觀

警備機關統一に關する韓民一般の意向を窺ふに極めて平穩にして孰れも當然の成行なりと看取し居れるが如く且つ組織發表前に在りては憲兵本位となり從來の警察制度は根底より破壞され就中韓人警察官は殆んど其全部を罷免せらるべき噂さなりしに事實は之に反して何等其事なく警視副監具然壽を始め警視警部巡査の末に到るまで悉く新官制の下に任用せられたれば統一に依り危惧されたる懸念は茲に一掃せられ却つて之を謳歌しつゝある傾向あり則ち新制度に對する一般の概念は頗る良好なりと云ふべし

迎接勅使の差遣

韓皇は山縣副統監着任に就き侍從副卿李會九氏を迎接勅使として仁川まで差遣されたり

●平和會議の披露宴 韓國平和協會にては三日午後七時より日韓新聞通信記者其他の有志六十餘名を明月館に招待し創立披露宴を張れり席上會長南廷哲氏の挨拶山縣セウルプレス社長の答辭あり宴闌にして皇城新聞社長柳瑾氏の發聲にて一同三鞭の杯を揚げて平和協會の万歲を三唱し午後十時散會せり因に同會の總裁には完興君、副總裁には中樞院議長金允植氏、會長には南廷哲氏副會長には李重夏氏總務には沈日澤氏外數氏理事には吳[illegible]等就任したりと

●警務總監部の課長 警務總監部は官房、警務、保安の三課に分ちたるが課長は左の如く任命さる
官房長 警視 永谷隆志
警務課長 警務官 中野有光
保安課長 警視 亥角仲藏
尙ほ青木警視は官房勤務を現平壤警察署長國友警視は保安課勤務を命せらる

●韓人警察官の任用 去る一日韓國人の警察官に任命せられたるもの左の如し
任統監府警務官(三等)勳三等 具然壽
勳三等 趙聲九　同 李[illegible]
同 黃信泰　同 金相淳
同 權泰衍　同 崔臺南
同 金海龍　同 權重翼
同 張字張
任統監府警視(七等又は八等)(各通)

●警視配置の警察署 警備機關統一の結果從來警視を以て各道警察部長に宛てたる所は總て廢せられたるが尙ほ京城南部、仁川、群山、木浦、鎭南浦、釜山、濟津、咸興、元山の各警察署には從來の通り警視を配置すると云ふ

●東洋日報發行停止 三日發行の東洋日報は治安妨害の廉を以て發賣頒布を禁止し且つ發行を停止されたり

●桐原前警視住所 前桐原南部署長は三日南部會賢坊美洞六統六李鳳來方構內元岩井警視住宅へ轉居したり尙ほ同家電話は二百三十二番なりと云ふ

●酒本警部の榮轉 南部警察署の高等係たりし警部酒本勇四郎氏は今回總監部保安課詰に轉勤を命せられたりと

●藤原課長の歸期 母堂歸朝中の度支部藤原課長は四五日內に歸任する由

京龍民團引繼順序

五日より龍山民團を廢して京城民團と併合され茲に昨年來の宿題たる京龍合併問題は愈々實行を見るに到れるが今此引繼順序を聞くに左の如し

▲歲入出豫算 合併の形式は則ち龍山民團を廢して京城民團に併合するにあれば京城は龍山として昨四日限り金錢の出納を停止せしめ又一切の債權債務を精算して其現在額を表示し更に其豫算は收支殘額を計上して引繼ぐ筈なり

▲豫算の更正 京城民團は右引繼を承けて之を包含し其豫算殘額は當該科目に編入して豫算の更正を行ひ又其債權債務は以後京城民團の責任として之れを處理するものとす

▲龍山諸規則 龍山民團の現行諸規則は年度內は其儘準用すべき筈なるが中には重複を生ずべきもの尠からず是等は當然龍山のものを廢止し京城の現行規則を適用せらるべし左れば稅則或は土地營造物貸下使用規則の如き根本制度に屬するものは縱令重複するも合一する能はず唯だ公布式、民會規則、職制又は處務規程及吏員の給與に關する規則等は自然龍山の規則は消滅に歸するものなり

▲龍山現吏員 現龍山民團に使用中の吏員は全部京城民團吏員として留任せしむる筈なれど配置の都合上兩者の合計に於て書記三名丈け減員せらるべし其三名は京龍何れより減すべきかは素より未定なるも多分龍山の現在員より陶汰されん

▲第一次民會 合併實行と同時に京城の現民會も影響を受け龍山の現議員を包容せる新民會を成立せしめざるべからず隨つて新に議席の確定及議長の撰擧を行ふの要あり且つ前記豫算の更正等もあれば直ちに民會の召集あるべきも引繼事務の整理に多少の時日を要するを以て第一次の民會は十日頃の豫定

▲今後議員數 合併後は議員數を增加して定員三十名とせるが十月の總選擧迄は龍山の現在議員を便宜留任せしむる事となり其現在數は京城十八名龍山十五名なりと云ふ

會議所の役員選擧

京城日本人商業會議所にては豫報の通り三日午後三時より同會議所樓上に於て臨時總會を開き役員の選擧を行ひたるが其の結果左の如し

會頭 當選二十二點 山口太兵衛
次點者二點 中村再造
副會頭 當選二十三點 中村再造
次點者一點 秋吉富太郎
常議員 當選十五點 近藤佐五郎
同 十五點 進辰馬
同 十三點 林田金次郎
同 十二點 古城龜之助
次點 十一點 池田長兵衛
次點 九點 深見濟
次點 六點 松浦源治

金塊買上增加

韓國銀行平壤支店に於て六月中買上げたる金塊は五十四貫三百七十七匁八分八厘この價格二十一萬九千〇十五圓四十一錢なるが此內輸出せるもの四十九貫五百四十三匁二分の十九萬〇九百三十七圓九十五錢なり尙之れを昨年六月中の買上高に比すれば三十貫八百十七匁八分八厘十二萬六千二百六十五圓四十一錢といふ多大の增加を示せり是れ近來に至りて平北朔州及び昌城金鑛の産出著しく增加せるに基因すと云ふと

●木材及建築界近況 民間に於ける木材及建築界の不景は數次報せられたる處なるが本年の如きも建築期に入らば多少の潤澤あるべしと同業一同の期待なりしも事實は意外にて一面建築所專屬の官營建築ゝ如き本年度四百三十万圓尙ほ材料に六七十萬圓の巨額を計上せるも殆と餘澤民業に及はず木材の捌方も昨年に比して更に半額にも上らず從つて建築らしき建築は殆と皆無の姿にて偶一二件の出づるあるも是又激甚なる競爭に勝へず何れも悲境の底にあり茲に唯一の光明は近く兩大鐵道起工に伴ふ景氣回復に一縷の望を繫くのみなりと

●全北の農事講習會 全羅北道にては本年度地方費中より支辨し比較的便利の地なる潭陽、長興、順天、南平、務安、同福、羅州、求禮の九箇所に農事講習會を開き稻作を主とし殖林及養蠶等を學理に偏せず實地に教授したるに當業者は大に之を歡迎し二十四歲より五十歲以上に至るもの先を爭ふて入所し一箇所定員五十人なりしに係らず凡て超過するの好況を示し且つ開會中每日時間を嚴守し熱心に聽講したる結果九箇所を通じて講習修得證を得たるもの六百三十二人の達したりと

●滿洲に米試作計畫 渾河を利用して撫順地方に米作の試植を爲す計畫あり、中村(登)代議士は今回撫順炭坑事務所に宛て北海道に於ける自己の農場より二種の籾種(赤毛坊主)約十町步分を寄送したるが同事務所にては直ちに之を試作し今秋の收穫成績如何に依りては會社の事業として之が擴張を圖らん方針にて農商務省側にては興味を以て其成功を期待し居る

●商業會議所發展策 商業會議所に於ては今回の役員改選を機とし根本的に大刷新を加へ充分素地を固むるの上更に進んで發展を講ずべき意向にして同會議所に於ては目下之れに對し種々準備中なりと云ふ

●ボールホツプ男爵 三日午後八時十分南大門着列車にて墺國男爵ボールホツプ氏一行釜山より來

公人私人

▲宇野美苗(春川區裁判所判事) 入京中の所三日春川へ
▲藍天蔚(淸國諮議官) 同龍山へ
▲淸水精三郎(外務省書記官)
▲永田幸太郎(忠北書記官) 同水原へ

龍山通信 (四日 支局)

▲副統監着任に就き龍山民長は出迎へたり尙副統監の搭乘せる列車三時三十八分龍山驛に着し五分間停車中煙火を打揚げ歡迎の意を表し
▲三日竹內、阪、象古等の龍山民團檢査員は同民團最終の會計檢査を[illegible]
▲京城理事官は一日附を以て京城民團合併に關する注意事項九ヶ條を示したるが其の重なる個條は左の如し 一、龍山民團の權利義務は京城民團に繼受すること、一、京城民團の財務は合併施行の日を以て[illegible]すること、一、龍山民長及會計役[illegible]を用ゐずして京城民團吏員[illegible]
▲麻浦の船橋一部破損したり 損害は氣の毒ながら別に[illegible]自然消滅するも他の[illegible]の必要も無ければ通行[illegible]りては何の痛痒を感ぜず

▲治外法權▼

山縣副統監が仁川へ着した、例に仍つて例の如く官吏が公務を廢して之れ迎ひに出掛けた、其狀恰かも封建君主に臣下が[illegible]樣だ▲山縣は米國や歐羅巴に行つた人だ、此人を俟つに東洋流の[illegible]ひや、御座り奉る扱を以てするは大なる間違ひだ、公務を廢して仁川まで出掛けたって何で彼れが喜ぶものか[illegible]手形交換所の本年上半期手形交換高は九億六千五百萬圓で其枚數が[illegible]一枚だ、されば一枚の手形金額が二十二圓の割合だ▲ヤット生れたが、記者が過日參觀したとき[illegible]の京城交換所へ難癖をツケる[illegible]た銀行小切手の中には、二圓、三圓と云ふ小額者が多かつた樣に見受けたこれでは交換所の計算に手數がかゝるまらう▲二圓だから三圓だからと切手で支拂たって何も差支はしコンナ小額の小切手を振出す座取引者を有するのは銀行にあまり名譽でもあるまい▲韓國政府高等官が大分出來た、之等は特別任用ではあるが矢張り[illegible]の臣僚に相違はない、が故に[illegible]地に對しては邦人高等官に對する樣の敬意を拂はにやならない[illegible]からなどと馬鹿にするのは[illegible]を現はすものだ▲病危篤に瀕[illegible]の兩敬が勳四等に叙された、[illegible]を農業家の樣に云ふが、人[illegible]たら、彼れの人格を嘉はふ[illegible]輕井澤に於ける開墾事業に[illegible]圖に三百四十年掛つて今年[illegible]を告げた訴訟事件がある、[illegible]が續いたものだ。

東京電報

伏見宮御歸着

漫遊中の伏見宮[illegible]本日橫濱に御上陸直ちに御參內[illegible]宮各大臣以下出迎へあり(同)

陛下の御臨幸

近衛師團司令部新築落成式を擧ぐ天皇陛下御臨幸午餐を召され後銃劍仕合[illegible](同上)

日露協約調印

日露協約は[illegible](四日)調印八日發表の筈(同上)

●水道料の値上げ 從來水商及水道會社[illegible]一人五[illegible]の純水料[illegible]なりしを最近に至り會社は俄然十圓に値上けしたる結果從來の各戶月極普通三十錢なりしを是亦た水商より其倍額六十錢を請求するに至れり固より會社[illegible]横恣の沙汰なりとて物議盛なりと水道に混せる昆虫の始末をも附けずして今亦無法の値上とは其處置如何にも[illegible]

●辭令 左の通り辭令ありたり
各通
同 陸軍[illegible] 畑[illegible]延太郎
同 加藤正信
同 時枝審政
補韓國駐剳憲兵隊司令部附 黑石憲治
同 陸軍憲兵中尉 立川吉太郎
同 [illegible]
同 加藤靜之進
同 吉村博
各通
同 阿部操太郎
同 板垣久男
同 井原[illegible]
同 [illegible]
同 杉山[illegible]
補韓國駐剳憲兵隊副官
補韓國駐剳憲兵隊分隊長
[illegible]

東京電報

▲伏見宮御歸着 東來御 漫遊中の伏見若宮同妃兩殿下は本日横濱に御上陸直ちに御歸京相成りたり各宮各大臣以下出迎盛んなり(同)

▲日露協約調印 日露協約は四日調印八日發表の筈(同上)

▲陛下の御臨幸 本日近衛師團司令部新築落成式を擧ぐ天皇陛下御臨幸午餐を召され後銃劍仕合を御覽遊ばさる(四日)

●水道料の値上げ 從來水商及水道會社間一箇月の給水料は一人五圓なりしを最近に至り會社は俄然十圓に値上げしたる結果從來の各戸月極普通水道に混せる昆虫の始末をも附けずして今亦無法の値上とは其處置如何にも三十錢なりしを是亦た水商より其倍額六十錢を請求するに至れり固より會社横恣の沙汰なりとて物議盛なりと

●辭令 左の通り辭令ありたり

各通 同 [illegible] 加藤正信 同 時枝齊毅

補韓國駐箚憲兵隊司令部附 黒石憲治 同 陸軍憲兵中尉 立川吉太郎 同 [illegible] 同 加藤勝之進 同 吉村[illegible]

各通 同 岡部操太郎 同 横並久男 同 井原[illegible]松 同 [illegible] 同 伊集院榮吉 同 税所進

補韓國駐箚憲兵隊副官 杉山[illegible] 同 補韓國駐箚憲兵隊分隊長 陸軍憲兵中尉 三浦快哉 免本職、補韓國駐箚憲兵隊司令部附 協野[illegible]

八百長の健康診斷法(上)

▽惡意の推斷に非ず

市中各地に散在せる料理店の仲居酌婦連が嚴重なる警視の眼を晦まして密淫賣することの到底取締り能はぬを感得したる各警察署に於ては爾來内示を彼れ等營業主に下して毎月一回若は二回の健康診斷を成さしめ當該醫師の診斷書を提出せしめ健否を判斷し或は客席に侍することを禁し或は入院を勸選し服藥治療を强ゆる等の手段に依りて病毒の傳播を防止するの策を樹つると同時に一方賣春行爲の取締を著しく寛大にした仲の新地の創設を許したるが如きは其の間の消息を語り盡して居る、而して我輩は此の健康診斷なるものが當局者の期待せるが如く又我輩等の推測せるが如く完全に行はれて居るとすれば追へば去る拂はざれば集る甜瓜の核の上の蠅にも較へつ可き彼等の取締りに疲るゝよりは結局勝れりと思惟するのだ、が事實は決して滿足に行はれて居らぬ否滿足に行はれて居らぬのでなくて滿足に行はしむべく爲れて居らぬ、何故に行らしむべく訓示しながら行らしむべく努めぬか此れは疑問ではあるまいか、イヤ慥かに疑問だ、併し疑問は疑問として假て僕の意見を陳る先づ取締を寛大にすると云ふ保障を與へぬければ健康診斷を行はしむることが出來ないであらふかと云ふことを考へるに我輩を以てすれば必ずしも然る必要はないと思ふ、料理屋の仲居酌婦藝妓に定期健康診斷を受けしむると云ふことは敢て交換的に利益を提供しなくとも行はしむることが出來たであらふ、イヤ出來るのである其の所謂無償で行はしむることの出來る健康診斷に『寛大なる手心』なる高價を拂ひて猶且つ之れを完全に勵行せしむることを敢てせぬのは如何なる故かと云ふに、开は警察官署が自らの手數を省きて而して監督官署に云ひ譯けが立ちさへすれば善いと云ふ了見であるからである、從前の警察官は何故に密淫賣婦を取締らねばならぬのか其の根本義を了解して居なかつたのである、だからして夫れを取締るのが操なしであつた、取締らんが爲めに取締るのでなく上長に申譯けさへ立てば善しと云ふ風であつた證據は所謂「手」なるものが這入るとしても一二軒の外には出ないのである手を入れるにしてからが因果なるものは豫め含められてあつたものと見ることが出來る、所謂八百長檢擧であつたと思へば思はるゝ、と云つても何日何時に手を入れるとは解つては居らぬが、只此间はお前の番だよ位は知れて居たのである、取締るものが頭から密淫賣なるものを社會の惡事と認めて居ないのであるから斯様な五月蝿い而して必要のない(彼の見て)取締に勞するよりは此の勞を省略する方法もがなと考へた末が此の健康診斷となつたのである即ち此の課法は彼れ等に課税したのでなく自身の負擔を輕くする爲めであつたのだ。

以上は無論當局者の醜—即ち懺悔ではない、只僕の推測であるが決して惡冥の推斷ではなく當然到著すべき結論を敷衍したに過ぎぬのである。

藪醫の大韓醫院

▽患者を虐待する看護婦

看護婦なる者は公私何れの病院を問はず入院其他の患者に對し親切懇篤に取扱ふ可き事の當然なるは改めて言はずとも明かなり然るに生意氣なる看護婦にて患者に對し不親切なる取扱を爲し其の他種々なる醜聞を耳にする事は屢々なるが兹に大韓醫院看護婦の不埒行爲を記さんに永野縣須知郡東小田村五百六十九番戸山田けさ(三三)は本年五月六日より民團役所の手を經て心臟病の爲め大韓醫院へ入院治療中の所同室看護婦取締臼杵某なる者は種々なる方法を以てけさを虐待するのみならず施料患者なれば死亡したる場合は解剖に附するとか何んとか耳に入る樣に口外するものからけさの如きは益々神經過敏となり一人悲嘆し居りたるに掛り主治醫士は神經病なる故外部散歩せしむるも可なりと云しとかにて段念に胸中破れん如く惱み居り病苦に堪へざるに看護婦の虚偽の上申に因り退院を命せられたるもけさは漸時治療受け度き旨嘆願せしに看護婦は和女如き患者を施料するときは限りなしと聞き入れず不得已退院したるも病氣は重体なるより患者は三日其筋に事情を告白して可然保護を嘆願せしより漢城病院に入院せしめし由なるが當該監督者と主治醫士の注意と充分なる診斷肝要なる可し

給島蔭の韓國人

▽稚兒ケ淵にて投身を企つ
▽遺書は不穩の文字に充つ

去る廿八日午後五時頃江の島惠比壽屋に入來れる脊廣服をつけたる年若き怪しき男あり女中の案内にて表二階六疊二號の座敷に打通り晩餐を喫し宿帳には仙臺市東一番町三林榮次郎(二九)と記せしも日本語は些しも判らず女中も審かしく思ひ居たるに食後浴衣に着かへて散歩に出かけ夜更くるも歸り來らざるにぞ主人は同人の座敷に到り洋服を探りたるに上着内隱より韓字にて認めたる書置を發見したるが朧氣ながら「國家の恨みを晴す事を得ず十有餘年目的を遂げず、同胞に面目なし千秋の恨みを呑んで自殺す」云々と判せられたるにぞ扨こそ投身者ぞと大騷ぎをなし漁民を狩立て捜索を始めたるに稚兒ケ淵に通ずる高き處に茫然と同人の佇み居るを發見して連戻り鎌倉署に引渡したるが同人は韓國京城生れの林榮(三九)と云ひ所持品は洋傘一本現金廿九錢のみにて『金なぞは何處からでも出る』と太平樂をならべ居る擧動何となく怪しきより朝鮮の高等人名簿を調査したるに合邦反對者の中に林榮喜と云ふ姓名あり其他別に似通ひたる名前なければ多分此林榮喜ならんといふ彼れは訊問の警官に對し金は何程にても入用次第取寄する事容易なり我黨は小なりと雖も五百人以上の同志は日本に入込み居れりと放言したり同署にては尚は嚴重に取調中なり

女振り

林東拓理事夫人 林しげ子

東洋拓殖會社理事林市藏君は元三重縣知事であつた、其以前は新潟縣參事官として同市學校町通りに住んで居られた、二十九年出の法學士で政治科專攻だ、本年四十二の厄年將來も又有爲の壯年である、市藏君曰く東拓理事になると知つたら少し農學も研究して置く筈だつた、と眞正に實際然うであつた、君は青年時代より有名なる井上雅二式ラフ、ライタアで今日も尚は且つ然りである、荒ひ乘手!!全く荒ひ乘手である、陽氣の發する所金石も亦透ると云ふが學生時代先生の陽氣が發すると雨月の主筆たりし文學士白川鯉洋君をして當時瞬を抱へて哀訴せしめた程である、彼の美男子を見ると目尻を下げるのは當時を追懷する爲である、しげ子夫人は本年三十一の血氣正に旺盛なる年增盛り市藏君の夫人として申分のない體格だ、龍山青木病院長夫人と同期に郷里熊本市の尚絅女學校を卒業されたので頗る活潑な質である、芝居が好き寄席が好き趣味は多角多面だ見るものなら男湯でもと云ふのは比喩である、長男の市太郎さんは郷里の祖父さんの所に御座る、長女のたきゑさんは九歳、二男の太郎さんは七歳、二女のみゑさんは四歳で三男は未だ腹に御座らつしやる、女中は三人居る、いつは山口縣人で四十六、やすは靜岡縣人で二十歳、つねは長崎縣人で二十六歳である、しげ子夫人の嫌ひなものは陰氣なのと白粥とである、白粥を食べる位なら氣の利いた劍突を食べた方が好いと云はれる相な。

●淫賣代を値切る 西部皇華坊館井洞五十五統二戸佛國領事館雇人黄喜吉(三三)は西洋カルボー素見しの目的にて二日午後十一時三十分頃照義門通り洋人淫賣ミセスソフヒー方に至りチヨツコン何程と尋ねしに一圓と答へしよりナツプン淫賣一圓高い五十錢チヨツソと云ひしにカア〳〵と云ひ何か言語の行違ひより爭論を起し淫賣婦より押し出さんとする際同家入口の硝子一枚及硝子の入れある下部腰板の一部を蹴りしとて淫賣婦より訴へ出西部署に於て双方取調しに水掛け論に過ぎず結局責より修繕する事に示談せしめ説諭の上放還

●理由有相な投書 鐘路の附近に而かも嚴正なる所あり然して又此處には適當なる人ありて最も良く諸事を辨へ暗に吾人の敬意を受けつゝあるは獨り御當人の幸福のみならず邦家の爲めにも慶賀すべき事なり然るに其部下に知良崎とか云ふ者ありて其神聖を汚し今や普く世人の耳に入らんとする所なり其原因を摘發すれば事元より小にして餘り罪なきものゝ如くなれども日を經月を重ぬるに於ては事の低止すべからざるも計り難し原因は釣鐘餅との關係なり此餅は頗るものにして狐よりも上位にあるものなり此餅のために信用地に落ちたる杉戸某は御用商人とかに引立られ日告人の日用品を納め其他辨當の差入杯もして暴利を貪ぼり居るとは見ても永續きの出來る筈もなきとなるが杉戸は十九、二十の釣鐘餅を知良崎某の居所に通はせロハにて毎日釣鐘餅を喰はせ知良崎を手の中に入れ込み又同人は自分此處に居る内は何とか盡力すべしと語り合居る由嚴正にして威信ある某所も是より墮落せんとするは遺憾なりと云ふべし尚價金三圓の煙草入に付ても後日報道する所あるべし(愛國生)

●弱り目に祟り目 德島縣阿波郡久勝村當時太平町丸屋旅館止宿富澤友愛(四)は本年四月上旬渡韓大邱に滯在せしが同地に於てマラリヤ病に罹り治療し全治の上京城に來り丸屋に止宿し居る内所持金を費消し不幸にも再び病氣に罹り治療の途無きより警察署に保護願出しに付南部署に於て行路病者として民團役所に引渡したりと

●計九圓四十七錢 七月一日の九時より十一時迄の間に於て南大門内郵便所入口に於て韓人用財布一個並に在中金七圓三十七錢御成町街路に於て三日午後九時頃小豆色三ツ折皮財布在中金一圓六十六錢同日午後四時頃古市町に於て鮫皮墓口財布在金四十四錢を西部警察署に拾得屆出ありしに付心當りの者は申出可しと

●柔道家賊を捉ふ 北部苑洞十統五戸金永錫(四〇)は北部孟峴十一統七戸内田良平方に忍び入り石鹸二個を窃取し家人に亂暴を加へんとするより同居の柔道家井上藤三郎氏取押へ北部署に引渡したるより取調しに發狂者なるより保護者に訓戒を與へ引渡したりと

●犬人間を食らふ 旭町四丁目宮内府官舍多田事務官令息武郎(十二)は一昨二日午後八時頃旭町三丁目後藤某宅の畜犬に咬傷せられしより即時大韓醫院にて消毒を受け犬は診斷の結果狂犬病にあらざるも一週間繋留を命じ注意を加ふべき旨飼主に説諭せりと

●轢死と投石 三日午後十時二十分南大門着列車の水色一山間進行中年齡二十二三の日本人男轢死を遂げたり▲三日午前九時二十分南大門發列車の郭山路下兩驛間進行中汽車に向て投石したるものあり三等客車窓硝子一枚破壞

●桃中軒如雲の初日 △四日夜より歌舞伎座にて 三日夜着城したる桃中軒如雲は同夜旭町蝶々に於て東洋日報主催の下に當地新聞記者を招待し入城披露を兼ね擊調の披露をなしたるが藝題は例の赤穗義士傳池田久馬生立の一節池田侯に服藥を勸むるの條なりし較々寂を帶び來れる音聲の然かも朗々として餘韻嫋々たる天才の名に孤負せず若し彼の胃題の七ツ譯き學者振りたる雲右衛門一流の氣障を除き得れば更らに可ならんも當年取つて十六歳の如雲に之れを强ゆるは青年虐待の譏を受けん、序を以て云ふが浪花節は其の名の示すが如く節を聽くのなり言葉はホンの添ね物と云ふ心持にて演るべし、浪花節語りに節の拙きは男に睾丸を缺くと一般なり彼の雲右衛門の如きは夫れなり、一文の價値なし、如雲に至りては之れと反對に言葉に於て幼稚(年齡上)なる所あるも節回しに至りては確かに天下一品なり少くとも巧手たるを失はず四日夜より歌舞伎座に於て初日を出したり讀物左の如し午後六時開場

塚原譽太刀風　千歳家不二男
佐倉曙義民傳　桃中軒雲若
天正武勇傳　早川清
忠孝苦心俠客　千歳家九州男
堀部安兵衛聟入
大石内藏助御藥獻上　桃中軒如雲

●仁川の東京大相撲

▽仁川興行二日目の勝負 三日(日曜日)重なる勝負左の如し

勝	負	勝	負
天王山	鳴戸洋	國の濱	四賀峯
玉柳	八ツ房	朔藻川	國岩
淺緑	玉ケ崎	二ツ引	玉の川
國見野	大淀	勢力	駒の勇
金の花	雷ケ浦	八甲山	日本海
佐賀海	五所車	近江富士	佐の川
大蛇潟	石山	黒瀬川	預 龍ケ崎
梅の花	預 紫雲	鋭川	八島山
鳳	大の川	土州山	大湊
玉椿	兩國	朝汐	碇潟
駒ケ嶽	國見山	常陸山	梅ケ谷

●大相撲仁川出發 東京大相撲の一行は四日仁川出發平壤に向ひたり

●浪花館 三遊亭若遊三一行にて殆んど二箇月に亘り大入を續けたる同館にては五日より浪花節吉川秀廣一座にて開演すと其の語り物左の如し

宮本左門之助(吉川靜奴八歳)吉原百番切(吉川五月女)掛川評定柳生朝比奈相生道中(吉田松葉)筑前騷動田宮重吉(吉川秀奴六歳)米澤評定金子春太郎(岡本伊之丸)建久美談曾我物語義士本傳(吉川秀廣)

因に毎夜兩席ども長講すと木戸場代は二十錢均一の大勉强

●壽座 同座五日の替番組左の如し

一ト目上り(金平)ゆび寫し檜獅子の曲(金遊齋)常盤津並に浮世節(小つま)とんちき音曲(市馬)彌次郎(金勝)音曲手をどり(金登喜)星の屋花圓遊)曲藝まりの曲(龜治郎)尺八曲義太夫さわり(花堂)新作落語新聞見合(金馬)大切新作喜劇化物長家

運勢 今日

七月五日舊五月廿八日 ●五黄 友引 辛 未除 △一白 新事見合せの事尚家族の事煩累あり旅行貸借保證を禁す△二黒 移轉改築模樣替方針替吉道失防ぐべし△三碧 厄運日諸事手控へ及旅行見合せの事△四緑 新事婚儀團結の事見合せたるべし交際取引上關係あり△五黄 屈伏を受くる勿れ賣買取引進んで不可新事見合せの事△六白 旅行事業始め開店相談に忌む其他大抵吉△七赤 組織の日新事起業旅行婚儀賣買利有り證券印章の事注意すべし△八白 職務上失錯起り易し其他慶事の日なり△九紫 利得ある日大抵吉凶浮調色を戒しむ(本町五丁目三一館判斷)

●天氣豫報 (自四日午後六時至五日午後六時) 西の風晴れ

三日(華氏) 最高温度 七八、六 最低温度 六三、三

美術半襟帯締其他紐類各種
京城明治町一丁目 電話一千四百〇九番
ゑり徳商店

本金 参百萬圓
積立金及繰越金 九拾五萬圓
京城南大門通
株式會社 十八銀行 京城支店
電話四二〇
銀行一般業務精々御便利に取扱可申候

本店 長崎市濱町
支店 京城、龍山、仁川、木浦、釜山、元山、群山、全州
出張所 大阪、熊本、佐世保、嚴原、五島、豊後
韓國本 其他日本、韓國樞要地、及露領浦鹽に爲替取引先あり

貯蓄預金 一口壹錢以上何程にても御預り申候（利息日歩壹錢二厘）
長崎貯蓄銀行代理店 （十八銀行京城支店）

滋養と牛乳
純良 牛乳
京城東四軒町
岡野牧塲
電話壹〇六九番
馬車配達
●●●衛生と消毒●●●

株式會社 百三十銀行 韓國總支店
京城本町二丁目十五番地
電話五十八番
資本金五百萬圓
頭取 安田善三郎
爲替取組先
畿内 大阪、京都、西陣、伏見、奈良、郡山、八木、高田、田原本、堺、貝塚、岸和田、御影、兵庫、神戸、平野、住吉、茨木、下市
東海道 東京、横濱、大磯、甲府、靜岡、名古屋、半田、熱田、四日市、津、山田、桑名、松阪
東山道 彦根、八幡、大津、長濱、大垣、岐阜、前橋、伊勢崎、宇都宮、福島、若松、青森、秋田、能代、七﨑、高崎
北陸道 小濱、福井、敦賀、鯖江、金澤
山陰道 大聖寺、富山、伏木、新潟、宮津、舞鶴、新舞鶴、豊岡、島取、米子、境、松江、久手、大田
山陽道 龍野、姫路、西大寺、笠岡、高梁、玉島、福山、府中、尾の道、三原、廣島、岩國、山口、柳井、平生、下關、萩、徳山、小郡、長府、網干
南海道 牛窓、味野、岩見、岡山、串本、御坊、田邊、新宮、和歌山、尾鷲、州本、撫養、德島、善通寺、丸龜、高松、八幡濱、川之石、宇和島、今治、西條、松山、三津ケ濱
西海道 直方、飯塚、博多、福岡、若松、久留米、若津、中津、小倉、門司、行橋、後藤寺、佐伯、別府、大分、伊萬里、牛津、長崎、佐賀、熊本、宮崎、鹿兒島、入幡、長洲
北海道 函館、小樽、札幌
台灣 臺北、臺南
清韓國 仁川、釜山、元山、鎭南浦、平壤、木浦、羅州、大邱、群山、安東縣、晉州、尙州、馬山
銀行一般の業務精々便利取扱可申候

きゝめのある 温泉湯
此の温泉は左の如き病に最も妙なり
一かつけ、痔疾、リウマチス、腰痛、中風、ひせん、梅毒、りん病よこね、子宮病、血の道、神經痛、やけど、マラリヤ、せんき腸胃加答兒、凍傷、がんがさ、其他内用には鐵冷温泉を併用すれば尤も効能あり
貸席
京城本町一丁目郵便局前
鐵冷温泉
電話千四百十一番

新に名館の料理人を入れ調理の粹を盡し季節々々の新らしき所を御試み月を新にしたる目新らしき壽司、うなぎ、めし類、アイスクリームも同様御高評願上候
壽町二丁目
電話九百四十・四地
食道樂

貨物運送取扱
税關貨物取扱
危險擔保附運送品
代金付貨物運送
貨物引換證發行
内國通運株式會社
京城南大門驛前 京城支店 電話七〇八番 電話一七九番
仁川驛前 仁川出張所 電話五一一番
草梁驛前 釜山出張所 釜山驛前電話六一六番 草梁驛前電話五三七番
龍山驛構内 龍山出張所 電話二〇六番

奥出洋服店
京城櫻井町五十七番ノ一（電話一二五五番）

廣告
民事、刑事、其他總ての訴訟事件の鑑定
貸金證券、賣掛代金、約束手形、爲替手形、其他總ての債權は事件の大小に不拘現金買入
預債、貸金、銀行、會社の整理引受及相談等は懇切依頼に應じ貸金請求、家賃取立、小作取立、其他總ての民事、刑事訴訟事件
右は迅速確實に依頼者の滿足を旨とし事務を取扱ふを以て事件の大小に不拘御來談を乞ふ
京城旭町二丁目百四十五番戶
堤重四郎法律事務所
鐘路典獄後洞廿一統六戶
同 鐘路出張所

無比勉强
かや わた
關戶蚊帳 株式會社韓國代理店
吳服 太物 洋反 蒲團 調進
京城明治町一丁目
唐川商店
電話二六一番
新案特許製綿韓國一手特約店

●京城市内の御注文は遠近に不拘早速持參可仕候●

概略營業品目
和洋帳簿諸紙類
文房具學校用品類
卷紙封筒手帳類
帽子洋傘クツ鞄
洋服附屬品一式
メリヤス類一式
毛布膝掛馬車掛
石鹸香水齒磨類
タオル、ハンカチフ
手袋沓下袋物類
正札一引なし
官衙、陸軍 銀行、會社 御用達
京城本町四丁目
池田長兵衛
電話二百〇六番
和洋雜貨 御小賣商

●地方よりの御注文は代金引換小包にて發送仕候●

●朝鮮唯一の土產夏季滋養●夏瘦の人は必ず飲め
賜東宮殿下御買上之榮
清國領事館御買上品
韓國京城博覽會褒狀受領ス
滋養強壯 人參飴
世界第一等の滋養品
牛乳鷄卵に優る效數倍
元祖發賣元
京城本町二丁目
井口順生堂藥房
本品は滋養劑として東洋第一と稱せらるゝ朝鮮人參を以て精製したる物にて朝鮮唯一の御土產品なり
本品は殊に夏季の强壯劑として頗る適切有効なるを以て何卒一度御試用の上御好評を仰ぐ
◎特約販賣店は京城、釜山、仁川、平壤、開城、龍山、鎭南浦、元山及各地有名藥店雜貨店に於てす最寄にて御買求を乞ふ
京城本町二丁目（電話一九九番）井口大藥房
京城大阪賣店 亀屋（本支）店
青木堂

特約販賣自製
味噌醬油製造元
漬物問屋
京城本町五丁目
大上商店
（電話二五一番）
ビール 新茶 大賣出し

資本金 一千萬圓
積立金 五百四十萬圓
株式會社 第一銀行京城支店
電話一一番 六一一番
銀行一般の業務は確實を旨とし精々御便利に取扱申候
本店 東京市日本橋區兜町
支店及出張所 大阪、京都、横濱、神戶、名古屋、四日市、下關、新大坂町（東京）、兵庫、伏見、西區（大阪）、釜山、
其他日本韓國各地並に海外樞要の塲所に爲替取引先有之候

資本金壹百萬圓
（本社大阪東區備後町）
大阪 火災海上運送保險株式會社
京城代理店
官製煙草元賣捌店
京城本町四丁目
三共商會
電話四一三番
保險料は低廉にして極めて簡便に御契約可仕候

京城待合案內（いろは順）
入船 南山町一丁目 電話一一三五番
春日 本町一丁目横町（支那領事館前） 電話九七〇番
やしく 南山町二丁目入口 電話二二九番
月の家 本町五丁目 電話一〇七六番
嬉野 永樂町一丁目 電話一四四四番
八島 南山町二丁目 電話一二八八番
松の家 初音町二丁目 電話一三三九番
この花 南山町一丁目 電話一〇二五番
壽 壽町三丁目 電話一一二二番
紅葉 南大門通三丁目 電話一三八二番
醉月 旭町二丁目 電話二六五番
住の家 旭町一丁目 電話六七六番
京城待合案內

當銀行は韓國中央金庫並に日本金庫事務の外預金貸金爲替等普通銀行の業務を精々確實親切に取扱申候
支店出張所 仁川、平壤、元山、大邱、鎭南浦、木浦、釜山、群山、馬山、城津、羅南、安東縣、新義州
韓國銀行
爲替取引先
日本 東京、京都、大阪、横濱、神戶、名古屋、四日市、下關、兵庫、伏見、東京新大阪町、大坂西區、松山、廣島、長崎、
韓國 公州、光州、晉州、全州、開城、海州、沙利院、博川、寧邊、義州、咸興、
清國 大連、遼陽、旅順口、奉天、鐵嶺、長春、牛莊、天津、北京、
其他 漢口、上海、
外國 香港、桑港、紐育、龍動、巴里、里昂、

韓官衙御用
營業科目
和洋紙類
印刷附屬品
印刷インキ
和洋書籍
防腐ヂシン
穀物食鹽
諸染料類
委託販賣
東京ランバーゾ商會代理店
東京中外アスファルト株式會社代理店
東京千代田生命保險相互會社代理店
東京博文館發行書籍特約店
東京金港堂發行書籍特約店
東京國定教科書共同販賣會社特約
藤田合名會社
本社 京城明治町二丁目（電話二三〇番）
出張所 東京本石町一丁目、京城南大門通一丁目、…

六月一日ヨリ
岐阜提灯賣出し
利益なし元價の一張二十五錢
東京 足袋
本店東京
京城大和町一丁目（日の出橋際）
大和屋 藤井出張店
電話二百〇五番
明治町勸商場內ニモ出張店アリ
正札付大安賣厘毛引なし安心して買へ升

明治廿年七月創立
東京火災海上運送保險株式會社
資本金一千萬圓●事務所 京城南大門通二 電話一〇六〇番
京城代辨店 本町四 山口吳服店 電話九番

紙と印刷
諸紙 和洋帳簿 印刷 各種製本
諸官衙御用
播本商店
京城本町六丁目
電話百拾番

旅館
京城南山町三丁目
京城ホテル
電話長一二三番 四九二番
日本室和食
特等（三圓五十錢）
一等（二圓五十錢）
二等（壹圓八十錢）
三等（壹圓五十錢）